

知るこそが 力になる

世界中ですばらしいパラリンピックアスリートと出会ってきた。

彼らは身体に障がいを持ちながらも厳しい競技の世界に身をおくことによって

自らを鍛え、常に「一歩上」への挑戦を継続している。

そこには障がい者という範囲を超えた人間としての魅力にあふれた輝きが存在する。

清水一二

プロフィール



清水一二 (しみず かずじ)

写真家

フォトサービス・ワン代表

日本写真家協会会員 日本スポーツプレス協会会員

国際パラリンピック委員会メディアスタッフ

1998年(長野)、2000年(シドニー)

1954年横浜市生まれ 横浜市旭区在住

日本大学芸術学部写真学科卒業後、神奈川リハビリテーションセンター写真室に非常勤で勤務。そこで障がい者のスポーツと出会う。

車椅子での富士山登山に同行撮影し、読売新聞社写真コンクールに入選。その後プロラボ(現像所)での技術・営業を経て、1980年フリーカメラマンとなる。

各企業の広報誌や教宣誌、カタログなどの企画・撮影に携わったかわら、ライフワークとして障がい者スポーツを撮り続けている。

30年以上にわたる障がい者のスポーツの記録活動を通じ、国内外の選手や団体との親交も厚い。長野冬季パラリンピックおよびシドニーパラリンピックでは、

日本人唯一の国際パラリンピックメディアスタッフとして撮影を行うとともに、NHK総合テレビにおいてコメンテーターを務める。

東京ガス株式会社の協力を得て、活躍は多岐にわたっている。

ライフワークでは障がい者の余暇・スポーツをテーマに撮影中。

主な著書

「パラリンピック・アスリート」

～輝く挑戦者たちのフォト・ストーリー～

中央法規出版発行

「日本の障害者スポーツ」

日本図書センター

経歴

1980年 フォトサービス・ワン設立

1988年 インスブルックパラリンピック取材・撮影

1994年 リレハンメルパラリンピック取材・撮影

1996年 オーストリア・レヒ障害者スキー国際大会取材・撮影

アトランタパラリンピック取材・撮影

1997年 スウェーデン・ソレフトオ障害者ウインターゲーム取材・撮影

ニュージーランド・ワナカ障害者ウインターゲーム取材・撮影

1998年 長野パラリンピックは国際パラリンピック委員会の公認写真家として活動

2000年 シドニー・パラリンピックより撮影した写真のインターネット配信を開始

2002年 ソルトレイクパラリンピック取材・配信

北九州ゴールドカップ取材・配信

2004年 アテネパラリンピック取材・配信

2006年 トリノパラリンピックを朝日新聞で取材・配信

2007年 JICA 横浜で写真展開催

2008年 北京パラリンピックを取材・撮影

2010年 NHK総合「視点・論点」に出演

朝日新聞社との契約カメラマンとしてバンクーバーパラリンピック大会の取材・撮影

2012年 朝日新聞契約カメラマンでロンドンパラリンピックを取材・配信

2014年 ソチパラリンピックを取材・撮影

2015年 NHK ラジオ「朝いちばん」/文化放送「くにまるジャパン」/NHK総合「視点・論点」に出演

NHK 総合テレビに出演

◇特集 パラリンピックめざして～柔道強化合宿に密着

◇パラリンピック ささえて～写真家 清水一二さん

2016年 JICA 横浜で写真展開催

リオデジャネイロパラリンピックを取材・撮影

2017年 文化放送「斉藤一美 ニュースワイド SAKIDORI !」にレギュラー出演

2018年 平昌パラリンピック取材・撮影